

西阿知学区 地域活動促進協議会

西阿知地区 社会福祉協議会

発行責任者 岡野 伸英

会長挨拶

地域をあげて防災に取り組もう



会長 岡野 伸英

西阿知学区地域活動促進協議会
西阿知地区社会福祉協議会

西阿知学区の皆様には平素より西阿知学区地域活動促進協議会並びに西阿知地区社会福祉協議会の活動にご理解ご協力を頂き、心より厚くお礼申し上げます。

就任して一年目、何も解らないまま色々な会合に出席してきましたが、地域として取り組むべき事は多々ある中で早急に取り組んだ方が良いのでは、と思われるテーマに触れさせて頂きます。

それは自主防災組織の立ち上げです。昨年就任の挨拶で触れさせて頂きましたが、その後何回かの講演、意見交換を重ねる内、必要性をさらに感じました。

昨年各地で起きた災害は、規模と云い、回数と云い、想定外のもので、被災者の方々に対し大変心の悼む思いでした。

幸いこの地域では火災噴火、津波、地滑りの危険性は他の地域よりは少ないかもしれませんが、以前高梁川が増水した時、この地域の堤防の数ヶ所から水漏れが見つかり、今は小さいが将来増水の度に穴が大きくなると、堤防決壊の危険性もあると言う事で、堤防補強工事が行われてきました。

また、昨年の広島市阿佐南区の集中的ゲリラ豪雨、

地形的に危険性はあったもののそれを知らしめる行政の手落ちも指摘されています。地震も恐いです。

異常気象の原因は地球温暖化と言われていますが、その原因は温室効果ガス。その削減対策もまだまだ進んでいません。

最近頻繁になってきた火山活動も気になります。

そこで、今やろうとしている事が、行政の目の届かない小さい危険性をチェックし、取り除けるものは取り除き、改良できるものは改良し、そして不幸にして災害に遭った時のために準備しておく物等を各地区で考え、実行して行うと言う、自主防災組織の立ち上げなのです。まずは専門家、そして経験者等の話しを聞き、知識を得てはどうでしょうか。講演を希望される団体があれば、市役所「防災危機管理室」電話「四二六―三三三―番」で受け付けてもられます。

この地域には昔から自衛消防隊が結成されています。地域に貢献する志で入隊したものの、力を発揮する機会もない状況の中で（もちろん火災は無いに越した事はありませんが）、自衛消防隊が軸になり公民館と協力して自主防災組織を立ち上げるのです。

自衛消防隊が加わる事により地域の人と消火栓を使った初期消火の訓練も可能になります。

自主防災組織とは、希望者や役員だけでできるものではありません。地域が一丸となって意識を高め、訓練に参加してはじめて本来の自主防災組織だと言えると思います。

一部の地区ではすでにできている地区もあり、現在立ち上げに向けて進行中の地区もあるようです。頑張ってください。

地域活動促進協議会としても取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

地区社協の活動費は社協会費・共同募金より助成されています

西阿知学区防犯連合会 今後に向けて

西阿知学区防犯連合会

会長 狩野 英一

西阿知学区防犯連合会も早20年になろうとしていきます。その間に防犯推進員を2人〜3人・・・5人と増員し、今では21名で活動しています。

その中に、青色パトロール隊が15名おり、この人達が日頃、青色回転灯を付けて、学区を常にパトロールしながら、学区の安全、安心の町を作り出しています。またさらには各地域から、子どもを守る会のボランティアグループの人達による、通学路や危険な町角に立って、子ども達の下校時の安全・安心を作り出しています。「おかえり。」「かえりました。」子どもとボランティアの人達の声のかけ合い。このことがボランティアの人達に元気を与えています。

この様に、一人一人のちいさな活動が知らず知らずのうちに、学校や市や県などの学校安全を守る人達の目に止まり、県から国へ報告され、西阿知学区防犯連合会は、文

部科学大臣 下村博文氏より、学校安全ボランティア奨励賞をいただきました。このことで、どんな小さな活動でも真剣に取り組めば、誰かが見て、そして報告され評価してくださる人がいるのだな、と痛感しました。

この防犯ボランティアの中には、ボランティアすみれ会のメンバーの人達も多く含まれています。年齢を積み重ねられた人達も防犯推進員に参加されています。3ヶ月に一度の推進員協議会にも参加され、厳しい意見もいただいています。

ただ一つ、防犯連合会は資金がありません。ですから、必要な器具を購入することが出来ません。昨年大橋住宅町内会に呼びかけたところ、早速資金援助がありました。このお金は、青色パトロール隊の呼びかけ用拡声機購入の資金とさせていただきます。各町内とも資金援助をよろしくお願いいたします。「拡声機1台5万5千円です。」2台ほしいのです。

さて、話しは戻しますが、今年も新一年生が入学します。親の期待と不安の中、子ども達は上級生と一緒に登下校をくり返し、馴れてくると我道とばかり4人5人とかたまり下校します。車の事故が気になります。オレンジ色の服を着たおじさん・おばさんの注意を良く聞いてお家に帰り、安全な町づくり協力して下さいね！

また、子ども110番にご協力くださっている

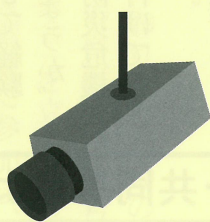
通学路のご家庭の方々も新一年生のかげ込み時、よろしくお願い致します。

家庭における教育は、朝起きた時からあります。親も朝起きたら、「おはようございませう。」と気持ちの良い挨拶をし、朝食もしっかり食べさせ、気持ちよく家を出る様にして下さい。

親が手本です。気持ち良く家を出れば学校でも気持ちの良い勉強が出来ます。親は手抜きしないことが大切です。

今、通学路に防犯カメラを設置するなどして、目の行き届かない所で活躍してもらっています。これからはもっと設置をしていく様、市へ要望しているところです。

警察・学校・防犯・家庭が一体となった取り組みこそが安全・安心の町づくりにつながるのであります。





環境衛生協議会 研修旅行
(人と防災未来センター)



交通安全対策協議会



片島元気交流会



片島のびのび体操



剣道 スポーツ少年団



3世代ふれあいスポーツ大会



グランドゴルフ大会



はじまりの会では皆で自己紹介をし、緊張しながらも皆の事がよく分かり、いいスタートを迎える事が出来ました!!

ペンギンクラブは出前講座を極力取るようにし、役員が少ない私達の負担にならないようにしました。

出前講座では、中央図書館など子ども達が喜ぶ絵本や紙芝居、人形劇、リトミック、体を動かすものを中心に出席を頼みました。

季節のイベントで夏祭りは毎年恒例の魚つり、輪投げ、ボーリング、工作をしました。子ども達に一番人気だったのは、うちわ作りの工作でした。

ハロウィーンでもお菓子の入れ物を作り、ハロウィーン風におばけやカボチャの形を

作り、好きなように絵を描いて、完成したら仮装して、お菓子を沢山入れてあげて写真を撮りました。

ペンギンクラブでは1回1回の定例会が充実していて、いい思い出が残ったと思います。

役員も少ない人数だったけれど、協力し合い、楽しく出来ました!!



さくらんぼ クラブ

相川美佐登

さくらんぼクラブは、山陽本線から南側に住む就園前の乳幼児と保護者を対象にした親子クラブです。今年度の会員数は子供49名、親41名で、地域で交流しながら仲間づくりをしていくことを目的として活動しています。

活動はおおむね月に2回で、季節の行事を取り入れながら、毎月のお誕生日会や座談会、また幼稚園の園庭開放に参加させてもらったりして親子共々交流を深めています。

今年度は、春には酒津公園で玉入れやしやぼん玉をして思いきり



遊びました。また体育館を借りて親子でリトミックをして体を動かしました。

七夕には本物の大きな笹に手作りした飾りや短冊をつけて願いごとをしました。

行楽・食欲の秋には、遠方の公園へお弁当を持って遠足へ出掛けたり、きび粉からきびだんごを作ったりしました。岡山にはゆかりのあるきびだんごですが、会員のお母さんもきびだんご作りは初めての人が多く、素朴なのに噛みしめるとほんのり甘くおいしいきびだんごの味に驚きました。

冬にはクリスマス会をしました。ハンドベルサークルの皆さんがハンドベルでクリスマスソングを聴かせてくれ、素敵な音色にみんな癒されました。また、愛育委員さんがサンタクロースを連れてきてくださり、子どもたち一人一人にプレゼントを手渡してくれました。サンタクロースからプレゼントを受け取る子どもたちの目はキラキラ輝いていました。



この他にも子育て支援センターの先生に出前講座に来てもらい公園でミニ運動会をしたり、公民館で工作したり、また人形劇サークルの方に人形劇を観させてもらったりと今年度は本当に盛りだくさんのイベントを楽しむことができました。

このような活動ができるのもさくらんぼクラブを多くの方々が支援して下さっているおかげです。いつもその支援に感謝の気持ちを持ちながら、これからも活動していきたいと思えます。

さくらんぼクラブでは随時会員を募集しています。見学もできますので興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 倉敷市保健推進室
電話(086)434-9822



西阿知南連合町内会 の紹介

赤壁弘毅



「西阿知南連合町内会」は校区内の単位公民館（西阿知・西原・片島・新田・南連合）の中で最も新参者の小さなグループです。とは言っても最初のメンバーがこの地に移住してから40数年がたっています。現在九つの単位町内会で370世帯余りの世帯数となっています。地域的には山陽本線の南、水工の西に位置し、西阿知町・西阿知町西原・片島町の一部で構成しています。

当連合会は、昭和40年台に他の都市から転勤で移住したサラリーマン世帯が大半であり、40年以上を経た現在では、高齢化が著しく進展しています。

80歳前後の高齢者二人住まい、又は一人住まいが多くなっています。移住一世代目には西阿知生まれの人はいなく、よそ者の寄せ集め集団と言われてきました。そういった環境の中で、諸先輩方は、コミュニティハウス（公民館）を建設し、南連合町内会を組織して、各单位町内会の一体化と西阿知地区への融和に腐心して来たと聞きます。

その取り組みの中に愛好会活動（カラオケ・囲碁将棋・ゴルフ・グラウンドゴルフ・生け花）があり、現在でもカラオケ・囲碁将棋・グラウンドゴルフは活発に続いています。

又、4年前からは、60歳以上の高齢者が元気に過ごすことを目的に「のびのび体操倶楽部」を立



ち上げ、年間を通じて、体力維持を目的に活動しています。（半分は井戸端会議？）フルメンバーで30人程度。そのグループから、「フラダンス」「手話」「ハーモニカ」等の会が派生して、賑やかにやっています。

さらに3年前からは町内会で「餅つき大会」を始め、昨年は12月14日に、白餅・あん餅・きな粉餅・豆餅・豚汁等を準備して、150人位が参加して昔ながらの餅つきを行いました。もち米は新潟産、黒豆は北海道産で産地の農家から直接インターネットで購入し、年代物の櫂の大白や三段重ねの木製蒸籠を使い、ここでも「のびのび体操倶楽部」が大活躍しました。

昨今、各地で大災害が多発しており、町内会の果たすべき役割もあります。現下の自然環境を考えて昨年、「西阿知南連合自主防災会」を立ち上げました。9月には、倉敷市総合防災訓練に参加し、第一中学校までの避難訓練を行いました。万一の時、自分達の命は自分で守る必要があるとの考えに立ち、今後活動を組み立てていきたいと考えています。

町内会の役割には他にも色々あり、現状は満足できる状況ではないと思っています。その障害は構成世帯の高齢化による機動力の低下、役員の後継者不足であり苦慮しています。何か良い対策は無いでしょうか。

